

学力調査の結果より

総合結果(国語・算数)

国語・算数ともに、全国平均・京都府平均を上回っています。また、ほとんどの問題で、無回答率も全国平均を下回っており、児童が問題に向き合い、最後まで取り組もうとする姿勢が見られます。

国語科より

全体的によくできていました。14問あるうち、すべての問題で全国平均・京都府平均の正答率を上回っています。特に、問題1ー「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるか」という問いでは、全国平均を15ポイント近く上回る結果となりました。これは、ふだんの学習活動に加え、久世西独自のプレゼンDAYの取り組みの成果もあるかと考えられます。

算数科より

算数科も全体的によくできていました。国語科と同じく、16問すべての問題で全国平均・京都府平均の正答率を上回っています。苦手な子の多い、記述式の問題は4問ありましたが、4問の正答率の平均は全国平均を10ポイント以上上回っており、日ごろの授業から文章で答える力をつけてきていることがうかがえます。ただ、記述問題の無回答率が全国平均を上回っていた問題もありましたので、苦手な子へのフォローの仕方は今後の課題と考えます。

保護者の皆様へ

全国調査は、子たちの学習状況を知り、子たちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決していくためのものであり、良い結果が出たからそれでよし、というものでもありません。ですが、今回の結果は、これまでの家庭や学校・地域での取り組みが子たちの学びにとってプラスであったことの一つの成果であると思います。学力は、家庭や学校、地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤になると言われています。今後も引き続き、子たちの健やかな成長と学びの環境づくりに向けて、ともにがんばっていきましょう。

学習状況調査の結果より

回答全体の様子から

63の質問に、「あてはまる・だいたいあてはまる・あまりあてはまらない・あてはまらない」での回答を基本に答えました。「あてはまる」の項目が、全国平均を大きくこえていたのは、「学校に行くのは楽しいと思いますか(全国平均より12P↑)」「友達関係に満足していますか(同9P↑)」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか(同9P↑)」などでした。学校生活をポジティブにとらえ、良好な毎日を過ごしている様子がうかがえます。反面、全国平均よりも肯定的な回答が低かったのは「自分にはよいところがあると思いますか(同6P↓)」でした。自己肯定感を高めるためにも、子たちの良さをしっかりとフィードバックできていたか振り返り、今後の声掛けにつなげていきたいと思っています。

教科に関することから

「国語の勉強は好きですか」に対し、肯定的な回答は66.7%、「算数の勉強は好きですか」は62.3%、「理科の勉強は好きですか」は90.4%、「英語の勉強は好きですか」は79.0%でした。必ずしも教科学習を好きである必要はないと思いますが、好意的に授業に臨める方がより学習効果は高くなることが期待できます。今後は、子どもたちが学習のどこに魅力を感じるのか、また感じにくいのかなどについてアンケート等をとることで、より意欲的に学習に向き合える土壌づくりをしていきたいと思っています。